

## 日本 MOT 学会 2022 年 1 月度第一回セミナーのご案内 「星薬科大学における薬学教育の変革と実践」

日本 MOT 学会の活動に日頃から多大な支援頂き感謝申し上げます。

本講演会では、星薬科大学薬学部の細江智夫教授と学生の森友紀さん、蒲駿平さんをお招きして、同大学における薬学教育の変革と実践内容をご講演頂きます。

皆様のご参加をお待ちしております。参加募集人数に限りがございますので、お早めにお申し込みをお願い致します。

### 記

1. 日時：2022 年 1 月 25 日（火） 19 時 00 分-20 時 30 分
2. 場所：オンライン Web 会議  
※Zoom 利用を予定しております。申し込み者に会議 ID を送付致します
3. 募集人数：100 名（申し込み先着順）
4. 申し込み〆切：2022 年 1 月 17 日（月）
5. 申込み方法：日本 MOT 学会ホームページ <http://www.js-mot.org/>  
※1 月 7 日（金）から申し込み開始を予定致します
6. 共催：日本 MOT 振興協会、科学技術と経済の会、星薬科大学
7. 次第

#### ■開会のご挨拶（19 時 00 分-19 時 05 分）

日本 MOT 学会 顧問 林 明夫 氏（科学技術と経済の会 常務理事）

#### ■講演（19 時 05 分～19 時 35 分 講演 20 分 質疑 10 分）

題目：「星薬科大学の薬学教育の取り組み」

講師：星薬科大学薬学部創薬科学科長 教授 細江 智夫 氏

概要：

平成 18 年度の学校教育法の改正により、薬学教育は 6 年制学科と 4 年制学科が置かれた。文部科学省は、4 年制学科に対して、「薬学の基礎的知識をもって社会の様々な分野で活躍する多様な人材」の輩出を求めており、薬学及び医薬・健康業界から社会に貢献できる人材の養成は、6 年制学科の臨床薬剤師の養成とともに、薬系大学に求められた喫緊の課題であるといえる。星薬科大学創薬科学科（4 年制）では文部科学省の求める「薬学の基礎的知識をもって多様な分野で活躍する人材」づくりを土台にしながら、本学の建学の精神「薬学を通じて、世界に奉仕する人材育成の揺籃である。」および本学が製薬会社の教育部門から開学した歴史的背景をもとに、大学独自のポリシーとして、創立者である星一の「起業家精神」を追加し、研究者や技術者だけでなく「起業家の視点」からも「探求心、独創性、問題解決能力を有し、生命・健康を科学する人材の

育成」を目指し、平成 30 年度から新カリキュラムを導入している。本講演では、大きな変革が続いている薬学教育（6 年制および 4 年制）の現状と本学が取り組んでいる 4 年制薬学教育について、教育現場の視点からご紹介する。

■学生発表 1 （19 時 35 分～20 時 00 分 講演 15 分 質疑 10 分）

題目：「知ることから始めよう～女性が笑顔で輝ける社会へ～」

発表者：星薬科大学薬学部創薬科学科 3 年 森 友紀 さん

概要：

これからは女性も活躍する時代だと言われている中で、女性特有の健康課題が仕事や学業の妨げになっている。講演者自身もそのような経験があり、調べてみると、SNS 上には自身と同じ問題を抱えている人がたくさん存在しており、日本にいる多くの女性が苦しんでいることを知った。そこで、デジタルや体験型サービスを用いて女性の健康課題に向き合い、一人でも多くの女性が輝ける社会を目指す女性ヘルスケア事業「WOSUMA」を考案した。本講演では「WOSUMA」の概要について紹介する。

■学生発表 2 （20 時 00 分～20 時 25 分 講演 15 分 質疑 10 分）

題目：「高齢者が元気に暮らせる社会へ ～「食のデリバリー」×「健康管理」～」

発表者：星薬科大学薬学部創薬科学科 3 年 蒲 駿平 さん

概要：

日本を高齢者が元気に暮らせる国にするために、一人暮らしの高齢者（独居老人）に「食のデリバリー」と「健康管理」を組み合わせた地域サービス事業提案内容を本講演で紹介する。独居老人の居住地にある飲食店と契約して栄養士とともにお弁当メニューを考えて、独居老人へ宅配することで「食」による栄養管理と安否確認をして、さらに訪問の際に、生活リズムに関するデータを収集して、かかりつけ薬剤師と共有・活用することで、投薬実態に合わせた健康管理をするサービスである。将来的には、生活リズムデータから早期発見・重症化予防につながる健康予測管理ツールの開発し、予防を基本とする健康サービスを提供するビジネスへの発展を期待している。

■閉会のご挨拶（20 時 25 分～20 時 30 分） 日本 MOT 学会 事務局長 佐々木康弘